

社会人のための情報システム誌

- 経営近代化のシステム研究 -

Computer Report

8

2018 No.767

3 はじめの言葉

4 人の情報処理と

取り扱いのポイント

田原文夫

当たり前のことだと、当たり前を確認することもなく、当たり前のように了解してしまうことがある。正確には了解しているものと思いついでいるだけのこともあるから怖い。策士策に溺れるとまでは言わないが、ブームのシステム化を推進していることの根本的目的を考えることなく、手段／道具としてのシステム作りにひたすら邁進してしまってきた過去の歴史がある。改めて人の情報処理を考えてみた。

10 情報社会を考える その95

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

特捜による工作行為

単なる梅雨前線とは言えない豪雨に見舞われた日本列島に、早くも上陸することになった台風 12 号、素人には耳慣れない寒冷渦に影響され東から西に向けて進む「逆コース」を取るという。まさに、これまでの常識外／常識外れ現象である。

森友／加計学園問題という前代未聞の政権トップ疑惑を晴らすことなく強引な幕引きを図ろうとするだけでなく、自らの旗印だったはずの働き方改革の審議も不十分なまま強行採決をしてしまった。あまりと言えるほどの無茶ぶり劇を見せている安倍政権の運営ぶりは、まさに民主主義政治逆コースである。

12 デジタルガバメント DG7

デジタル政府の展開 その7

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018 年 1 月 16 日に日本政府もデジタルガバメント実行計画を e ガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28 年 1 月 16 日から 2023 年 3 月 31 日までの計画である。2018 年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府は ICT を使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 9 連載 アーキテクチャ論 (88)

ArchiMateによる e-Health ビジネスモデリング

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

今回は、ArchiMate[1、2]によるビジネスゴール分析とビジネスプロセス分析を統合するビジネスモデリング手法を紹介した。本稿では、ヘルスケア分野におけるビジネスモデルをArchiMateで表現する方法を紹介しよう。

まず、ヘルスケア分野のビジネスモデルのユースケースに対するメタモデルについて述べる。次いで、このメタモデルをArchiMateで記述する方法を説明する。さらにこの手法を例題に対して適用することにより、ArchiMateでヘルスケアビジネスのモデルを作成できることを明らかにする。

2 5 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第11回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社(社員)レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経/血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 2 IT新時代とパラダイム・シフト

第105回 医療高度化の谷間で

放置されてきたCT見落とし事故

根本忠明

CT等の画像診断見落としによる医療事故が相次いでいる。医療技術の高度化により、ガン等で早期発見・早期治療が可能になってきており、助かったかもしれない病状の見落としは、医師や病院の責任が問われる時代になっている。2000年代に入り毎年のように繰り返されてきたCT画像等の見落としの防止には、担当医依存の医療体制の改革が不可避といえる。今回はこの問題に焦点を当て、報告することにしたい。

3 5 続インテリジェンスへのいざない 102

情報公開時代の今こそ

問われる情報管理論

今井 武

何が幸いするかどうか分からない。日記代わりに書いているSNSで競うように自分の周辺の限りなく個人情報の発信がブームである。その結果、どの範囲まで情報が拡散されてしまうのか。その弊害は何か。見切った上での情報発信とは思えないお粗末さも垣間見える。いずれにせよ、情報公開を是とする社会における情報管理論のあり方が問われている。

3 7 連載 語録(ごろく) 30

すぎやまちヒロ

本誌ホームページをご覧ください。

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版 データ・ウェアハウス

定価 本体 2,800円＋税 送料(円)3000
A4版 294頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 140年を振り返るデータ	第七章 情報システム部門から望むデータウェアハウス
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの構築とエン지니어ツール
第四章 リレーショナルモデルとOLAP、リレーショナルモデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 大規模の構築とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 1,800円＋税 送料(円)3000
A4版 194頁

田原 文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動の心理的決定要因	第五章 消費者行動のツール
第三章 消費者行動の社会的決定要因	第六章 人間であること(人間の行動プロセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス O L A P

定価 本体 1,800円＋税 送料(円)3000
A4版 294頁

豊島 一政・木村 賢 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのOLAPにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの発展	第八章 多次元データベースの構築
第三章 OLAP機上によるOLAPソフトウェアの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分散処理の概念	第十章 OLAP/サーバーとPC/クライアント
第五章 OLAP/多次元データベースの設計	第十一章 OLAPアプリケーション/パッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

shin 研究誌情報書店

インターネットセキュリティの 落とし穴

一橋大学教授 安田 聖 監修
ais情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
定価 本体 1,800円＋税 送料(円)3000
A4版 194頁

目次

第一章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十一章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第二章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十二章 メールセキュリティ
第三章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十三章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第四章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十四章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第五章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十五章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第六章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十六章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第七章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十七章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第八章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	第十八章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題
第九章 高度化するセキュリティ対策の現状と課題	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！ トップ主導の 情報システム革新

定価 本体 2,800円＋税 送料(円)3000
A4版 214頁

高田 順重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム設計の現状と今後の課題	第五章 情報システム設計の現状と今後の課題
第二章 情報システム設計の現状と今後の課題	第六章 情報システム設計の現状と今後の課題
第三章 情報システム設計の現状と今後の課題	第七章 情報システム設計の現状と今後の課題
第四章 トップ主導の情報システム設計	第八章 情報システム設計の現状と今後の課題

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』 すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(円)3000
A4版 298頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定
■ コミュニケーションの構築	■ 広報の目的と効果の測定
■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定
■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定
■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法 —オーダーリングとスパース—

定価 本体 1,800円＋税 送料(円)3000
A4版 214頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第三章 計量モデルの効率的解法
第二章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第四章 計量モデルの効率的解法
第三章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第五章 計量モデルの効率的解法
第四章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第六章 計量モデルの効率的解法
第五章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第七章 計量モデルの効率的解法
第六章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第八章 スパース

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク がんばれ、国際グローバルリーダー —RPA社会に選んだ国際連携システムからの挑戦—

定価 本体 1,800円＋税 送料(円)3000
A4版 298頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 序論	第十一章 国際連携システムの構築
第二章 国際連携システムの構築	第十二章 国際連携システムの構築
第三章 国際連携システムの構築	第十三章 国際連携システムの構築
第四章 国際連携システムの構築	第十四章 国際連携システムの構築
第五章 国際連携システムの構築	第十五章 国際連携システムの構築
第六章 国際連携システムの構築	第十六章 ユーザー体験
第七章 国際連携システムの構築	第十七章 国際連携システムの構築
第八章 国際連携システムの構築	第十八章 国際連携システムの構築
第九章 国際連携システムの構築	第十九章 国際連携システムの構築
第十章 国際連携システムの構築	第二十章 国際連携システムの構築

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp